

“次世代への挑戦！！”

自民党真政 さいたま市議会議員

井原ゆたか

井原ゆたか市政レポート vol.9 (発行日) 令和元年10月
(発行) 井原ゆたか事務所 さいたま市中央区下落合 1071-1 MIビル4 3F

活動報告

中央区の身近な問題から、さいたま市の将来像に関わる問題まで、幅広く行政へ提言をしております！

1 井原ゆたかの提案が実現

1. SDGs 未来都市への選定
2. 紙おむつの園内廃棄
3. シェアサイクルの推進

2 決算議案に対する質疑に登壇

1. 決算議案のポイント

3 埼京線減便に対してJRと協議

4 中央区における実績

1. 与野中央公園にバスケットゴールの設置
2. 与野本町駅～中央通り交差点に歩行者用信号機を設置

ご挨拶

今年5月より市議会議員2期目の任期が始まりました。市議会ではまちづくり委員会の副委員長として、都市局・建設局・水道局の事業について確認しております。中央区においては、中央区役所周辺の整備計画も検討が進んでおり、本任期中にはダイナミックなまちづくりにも着手できる予定です。また、中央区において初のコミュニティバス（乗合タクシー）も来年度に運行予定です。さいたま市全体としては、さいたま市役所本庁舎の整備に関する協議が議員の中でも始まり、3市合併以来の政治課題の解決に向けて動き出します。子育て関係では、私が提案した保育園での紙おむつの園内廃棄が、認可保育園においても順次始まり、来年度には公立認可保育所でも整備に着手予定で、保育環境の向上が望めます。地域の方々からの声を大切に、この街に暮らすみなさまが快適に過ごせるように、2期目も市政に全力で取り組んでまいります。

井原ゆたかの提案が実現

1 SDGs 未来都市への選定

SDGs (Sustainable Development Goals) とは？

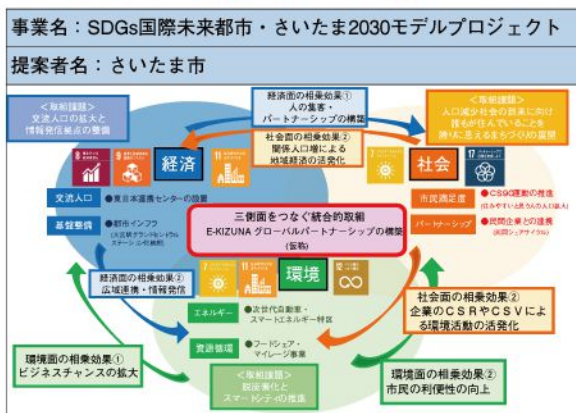
2015年に国連で定められた指針で、“誰一人取り残さない”持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を目指して17の国際目標が定められました。



SDGs未来都市とは？

日本政府としてSDGsを推進するため、内閣府がSDGsのコンセプトにあった都市・地域づくりを行っている自治体を募集したものです。さいたま市として今まではSDGsに対して積極的な取り組みはありませんでしたが、**既存の浦和美園地区のスマートシティやフードロス削減などの取り組みをSDGsの理念に合わせて提案したところ、結果的に“SDGs未来都市”へ**

選定されました。これを機に、市の政策がSDGsの理念に基づくことで、地元企業や我々の生活に浸透していくことを期待します。



【さいたま市の提案】

市の「経済」「社会」「環境」の取り組みを連携して提案しました。SDGsの理念に沿うことで、目標のイメージも明確化出来ました。SDGsは持続可能なまちづくりを目指すという意味でも自治体に欠かせません。

2 紙おむつの園内廃棄

昨年12月の一般質問によって提案し、今年度より市内の認可保育所において、紙おむつの園内廃棄の取り組みを進めています。来年度には公立の認可保育所でも整備に入ります。保育所において、紙おむつの持ち帰りは衛生面からも利便性の面からも大きな問題がありました。園内廃棄を行うには、保育施設整備も必要になるので時間を要しますが、**保育の質の向上のために市内全域の保育所で園内廃棄**が出来るように、進めてまいります。



息子が認可保育園に通いだしたことで、気づいた点も多々あります。

3 シェアサイクルの推進

“HELLO CYCLING”というアプリ、“ダイチャリ”というロゴの自転車はご存知でしょうか？さいたま市は公共用地を無償提供し、**民間がシェアサイクルを設置する公民連携事業を進めています**。コンビニとも連携しており、設置台数は増えております。しかし、市が主に月極めで貸し出しているコミュニティサイクルとも重なるので、より手軽に利用でき、**行政コストもかからないシェアサイクルへの統合を提案**しています。ユーザーが増えれば、設置台数も増やせますので、積極的なご利用をよろしくお願い致します。

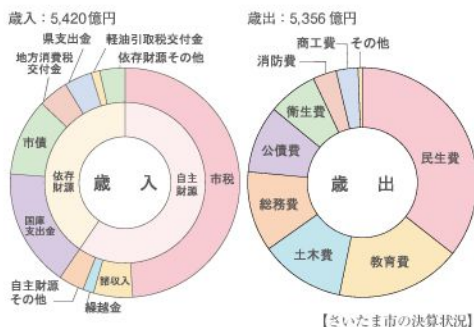


【ダイチャリのステーション】
1回15分60円よりご利用できます。
(2019年9月現在)

平成30年度決算議案に対する質疑に登壇

point

健全な財政を保っているものの、前年度と比較して特色が見当たらず、目前にある事業について支出しただけに見えます。特に土木費は昨年度比で100億円以上の減額となった一方で、将来的に大規模事業（大宮駅GCS化構想や市役所本庁舎整備など）での大きな支出も予測されます。市としての中期的なビジョンを作る必要もあるでしょう。



埼京線減便に対してJRと協議

JRの11月30日のダイヤ改正で、大宮～武蔵浦和間において日中帯の快速列車の停車駅の見直しと各駅停車の削減により**1時間あたりの運転本数が9本→6本への減便**となります。私は2年前に一般質問において、埼京線の利用客数は開業時から2倍以上に増え、また沿線の人口も増え続けていることから**埼京線の増便を要請**しましたが、**市長及び国会議員は一度もJRと本件を協議していない**ことも分かりました。埼京線は市民にとって非常に重要なインフラですので、JRに対し、日中の減便の見直しや朝・夕の通勤時間帯における増便等を求める決議案を議論しました。結果的に議会での決議は不成立となりましたが、JR大宮支社にて沿線議員有志で協議を行いました。将来的な埼京線沿線の発展にも影響がありますので、市民のみなさまからの後押しもよろしくお願い致します。



まちづくり委員会副委員長として決議案を議論しました。埼京線の減便は納得がいきません。

■ 中央区における実績 ■

1 与野中央公園にバスケットゴールの設置



バスケットゴール設置例(大平公園)

地元PTAの方々からのご要望も受け、東京オリンピックに先立って、子どもたちにバスケットボールに親しんでもらえる環境を作るために、与野中央公園への設置を進めています。一方で、公園の遊具が利用不可となっている状態の解決も早期に図ります。

2 与野本町駅～中央通り交差点に歩行者用信号機を設置

近隣の方から、子どもたちの横断も多く、交通量も多い交差点なのに歩行者用信号機がなかった、というご相談を受け、信号機設置に取り組みました。



今年7月に設置完了しました

(県警案件なので、大宮区藤井県議にご協力いただきました。)

コラム：天体観望会を開催

8月は国立天文台や埼玉大学のサポートも受けて、中央区内の小中学校3校にて、天体観望会を開催出来ました。子どもたちに月・木星・土星を望遠鏡で見せることが出来、夏の夜空に浮かぶ代表的な星についても説明出来ました。初めて望遠鏡を通して星を見た時の感動の声を聴いて、私もうれしくなりました。学生の時に経験した理学の知識を、地域の子どもたちに伝える活動も定期的に行おうと思います。



井原 ゆたか プロフィール ● 昭和58年1月13日さいたま市生まれ(36歳)

淑徳与野幼稚園 卒園	平成 22年	東芝ソリューション株式会社 入社
与野本町小学校 卒業	平成 25年	トヨタ自動車株式会社 入社(出向)
麻布中学校・高等学校 卒業	平成 27年	さいたま市議会議員 初当選
東京大学理学部天文学科 卒業	平成 31年	さいたま市議会議員 当選(2期目)
東京大学大学院博士課程 修了		



井原ゆたか事務所

Tel : 050-3418-7058

Fax : 050-3588-4018

〒338-0002 さいたま市中央区下落合1071-1MIビル4 3階 Mail : contact@yutakaihara.jp

井原ゆたか 公式HP <http://www.yutakaihara.jp/>